



あさがおの生長に寄せて

学校長 有村 恵

今年も1年生がベランダで育てているアサガオが花をつける時期となりました。1年生の子供たちが水やりをしたり、観察をしたりする姿を微笑ましく見えています。このアサガオの生長を通して、様々なことを学んでほしいと思うことです。

それではなぜ、毎年小学校でアサガオを育てるようになったのでしょうか。その理由として、アサガオは、初めて植物を育てる子供でも育てやすく、毎日水さえあげれば大きくなっていく植物だからです。また、学校へ着いた朝にちょうど咲いているので、登校するときの楽しみにもなるようです。さらにアサガオが、教材として適している理由としては、アサガオは、小さな種から芽が出て、葉が広がり、ツルが伸びて花が咲きます。そのような植物の基本となる育ち方の過程で、子供たちは葉や花の大きさに驚き、まっすぐ伸びないツルを支柱で支えてあげなければならないことなどを学びます。また、咲いた花は色水にできて、育てた最後には種もでき、その種を次の1年生にプレゼントできます。つまり、生長とともに驚きがあり、ときに対応するため考える必要がある植物として、アサガオは適しているからです。

このことを、学習指導要領では“気付き”と表現しています。生活科では、子供たちが植物を育てていく中で、植物の生長と自分の成長を照らし合わせるように授業をしています。アサガオ以外の植物でもいいのですが、アサガオは毎日休まずに世話を続けていると、多くの気付きがあり、自分の成長にも自然と気付ける植物のひとつだからです。

学校では、他にも定番の植物があります。例えば「ヒマワリ・ホウセンカ」や「ヘチマ」です。3年生でヒマワリやホウセンカを、4年生でヘチマを育てることが多いですが、これらも、その学年の子供たちの教材として適しています。

ここでアサガオのことについて紹介します。アサガオは古典園芸植物（伝統園芸植物）といわれており、その古典園芸植物の中でも唯一の一年草です。江戸時代に一大ブームを巻き起こしたアサガオは、一年草という特徴から他の古典園芸植物よりも多くの品種が作り出されました。愛好家の中で品種を競う「朝顔番付」も関西や関東で盛んに品評会が開催された記録が残っています。遺伝子の法則も植物の受粉の仕組みも解明されていない中で、アサガオは愛好家のもと、特殊な栽培技術で数千種類にも及ぶバリエーションが生み出されました。

こんなにも日本人に愛されたアサガオですが、しかし、原産地は日本ではありません。奈良時代に中国からもたらされたといわれるアサガオは、当時は薬草（下剤）として持ち込まれました。そのうちに、花が美しいことから観賞用にも栽培されるようになりました。現在アサガオの属するヒルガオ科サツマイモ属は、中央から熱帯アメリカが原産地であるといわれています。日本で栽培されているアジア産のアサガオと、それ以外のアサガオでは花芽のできる日長感受性に違いがあり、メキシコ原産のアサガオは夜に咲く品種もあります。アジア系統のアサガオは冬を過ぎさなければならぬため、種子を残そうとして日が短くなると花を咲かせる短日性の植物として変化を遂げました。

1年生の子供たちがアサガオの生長からどんなことを感じてくれることでしょうか。多くの“気付き”があれば嬉しいです。





校内読書旬間



6月5日(水)～16日(金)は、読書旬間でした。この期間に読み聞かせグループ「おはなしかめさん」による「お話会」、おすすめの本を紹介する「読書郵便」、学校図書館の新書を選ぶ「選書会」、異学年のペアで上の学年の子供たちが読み聞かせを行う「ペア読書」、今年初めて図書委員会の取組として行った「ビンゴでガチャポン!」、先生方による「読み聞かせ」がありました。様々な取組を通して、これまで以上に本を身近に感じることできる良い機会となりました。



おはなしかめさん
「お話会」



「ペア読書」



先生方の
「読み聞かせ」

読書のすすめ!

6月は読書旬間や毎月23日の「子どもといっしょに読書の日」の取組が行われましたが、子供たちの日頃の読書の様子はいかがでしょう。



読書には様々なよさがあるといわれています。(知識が身につく、語彙力や文章力が養われる、想像力が豊かになる等) これまで「自分から進んで本を読もうとしないんです。」という言葉をつけたことがあります。進んで読もうとしない子に「本を読みなさい。」というだけではなかなか自分から進んで本を読むのは難しいように思います。様々なジャンルの素敵な本に出会う機会をたくさん作ることが大切です。ぜひ御家庭で読み聞かせをしたり一緒に本を読む時間をたくさん作ったりしてほしいと思います。

たくさんの素敵な本に出会った子供たちはきっと、自分から進んで読書をする本が好きな子になってくれると思います。

吉田小フォト(6月)「小中交流タイム」



吉田北中学校の生徒の皆さんが様々なレクリエーションを計画してくれました。

人権集会!

6月2日(金)にニコニコ月間(いじめ防止啓発強調月間)の取組として、人権集会を行いました。各学年の代表児童が自分の作成した人権標語を発表し、自分や友達を大切にすることを伝えてくれました。次に、環境委員会から人権について考える劇をしてくれました。自分や友達を大切にできる心、思いやりの輪が広がる集会となりました。

